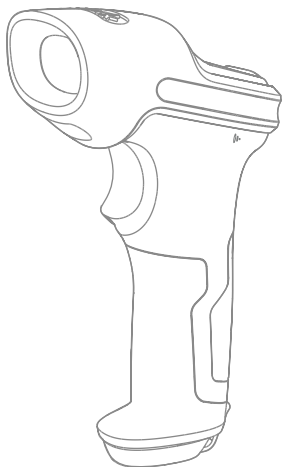


inateck®

取扱説明書

P6 バーコードスキャナー



日本語

目録

重要なお知らせ	5
安全上のご注意	5
日常のお手入れ	5
Inateck P6 バーコードスキャナーの概要	5
製品図	5
スキャナーの特長	6
製品仕様	7
正しいスキャン方法	8
間違ったスキャン方法	8
クイックスタート	9
セットアップのフローチャート	10
設定モードに入る	10
保存して終了	11
保存せずに終了	11
工場出荷時の設定に戻す	11
ソフトウェアのバージョンを確認する	12
カスタム設定を保存する	12
第 1 章機能と基本設定	14
1.1. バッテリー	14
1.1.1. 充電	14
1.1.2. 基本操作	14
1.1.3. 自動スリープモード	15
1.2. データバッファ	17
1.2.1. ワイヤレスモード	17
1.2.2. 在庫モード	19
1.3. LED インジケータ	20
1.4. ビープ音	20
1.4.1. ビープ音の音量	21
1.5. スキャニング モード	22
1.5.1. 自動レーザーオフモード	22
1.5.2. 自動感知モード	23
1.5.3. 連続読み取りモード	24
1.5.4. 手動モード	26
1.6. 対応キーボード	27
1.7. サポートされているバーコード	29

第 2 章 PC/スマートフォン/POS との接続方法	30
2.1. USB 有線データ伝送	30
2.2. ワイヤレスデータ伝送	30
2.3. データ伝送スピード	31
第 3 章バーコード設定	32
3.1. Codabar	32
3.1.1. Codabar を有効 / 無効にする	32
3.1.2. Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送する	33
3.2. Code 11	34
3.2.1. Code 11 を有効 / 無効にする	34
3.2.2. チェックサム検証	35
3.3. Code 128	37
3.3.1. Code128 を有効 / 無効にする	37
3.4. Code 39	38
3.4.1. Code 39 を有効 / 無効にする	38
3.4.2. Coda39 スタート・ストップキャラクタを伝送する	39
3.4.3. チェックサム検証	40
3.4.4. ASCII コード認識範囲の設定	41
3.4.5. VIN	42
3.4.6. Code 32	43
3.5. Code 93	45
3.5.1. Code 93 を有効 / 無効にする	45
3.6. EAN-8	46
3.6.1. EAN-8 を有効 / 無効にする	46
3.6.2. チェックサム検証	47
3.7. EAN-13	48
3.7.1. EAN-13 を有効 / 無効にする	48
3.7.2. チェックサム検証	49
3.7.3. ISBN	50
3.7.4. ISSN	51
3.8. MSI	52
3.8.1. MSI を有効 / 無効にする	52
3.8.2. チェックサム検証	53
3.9. UPC-A	55
3.9.1. UPC-A を有効 / 無効にする	55
3.9.2. UPC-A に 0 を付加する	56
3.9.3. チェックサム検証	57
3.10. UPC-E	58
3.10.1. UPC-E を有効 / 無効にする	58
3.10.2. UPC-E1 を有効 / 無効にする	59

3.10.3. 先頭文字送信	60
3.10.4. UPC-E を UPC-A に変換する	61
3.10.5. チェックサム検証	62
3.11. IATA 2 of 5	63
3.11.1. IATA 25 を有効 / 無効にする	63
3.11.2. チェックサム検証	64
3.12. インターリーブド (Interleaved) 2 of 5 (以下インターリーブド 25 と省略)	65
3.12.1. インターリーブド 25 を有効 / 無効にする	65
3.13. マトリックス (Matrix) 2 of 5 (以下マトリックス 25 と省略)	66
3.13.1. マトリックス 25 を有効 / 無効にする	66
3.13.2. チェックサム検証	67
3.14. スタンダード (Standard) 2 of 5 / インダストリアル (Industrial) 2 of 5	68
3.14.1. スタンダード 25 を有効 / 無効にする	68
3.14.2. チェックサム検証	69
3.15. 中国郵便番号 (China Postal Code)	70
3.15.1. 中国郵便番号を有効 / 無効にする	70
3.15.2. チェックサム検証	71
第 4 章出力フォーマットの設定	72
4.1. Code ID	72
4.2. バーコードの停止コードに関する設定	74
4.3. プレフィックス / サフィックス設定	75
4.4. バーコードデータの文字 (複数可) を削除する	76
4.5. 大文字 / 小文字の設定	78
4.6. 追加コード	79
4.6.1. 2 桁の追加コード	79
4.6.2. 5 桁の追加コード	80
4.7. バーコードセパレーター	81
4.8. ショートバーコード	82
4.9. Caps Lock 制御	83
付録 1 プレフィックス / サフィックスの番号とシンボルリスト	84

重要なお知らせ

安全上のご注意

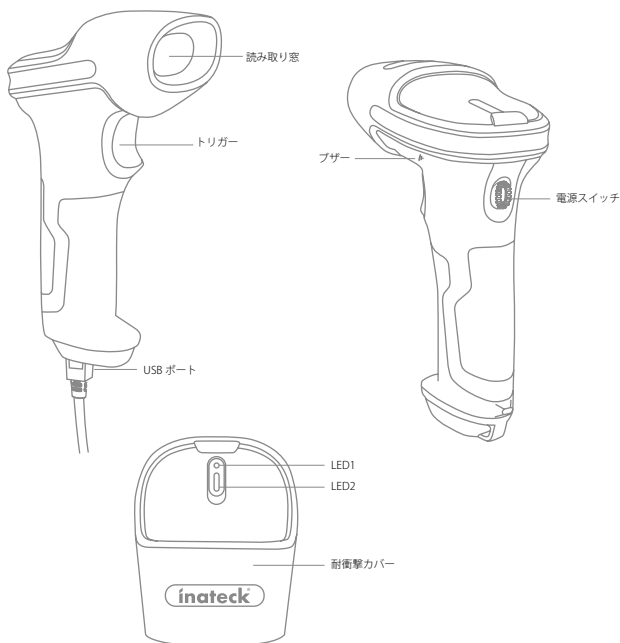
- * 短絡したり、回路が損傷したりする可能性があるので、スキャナーを分解したり、異物をスキャナーに入れたりしないでください。
- * スキャナまたはバッテリーを引火の恐れがある場所に放置しないでください。

日常のお手入れ

- * きれいな濡れた布でスキャナーの本体からほこりを拭き取ってください。
- * 長期間使用しない場合は、スキャナーの電源スイッチをオフモードに切り替える必要があります。
- * スキャナーは異常がでる場合は、弊社のカスタマーサポートに相談することをお勧めします。

Inateck P6 バーコードスキャナーの概要

製品図



スキャナーの特長

- * オートレーザーオフモード、オートインダクションモード、連続スキャンモード、マニュアルモードの4種類のスキャンモードが搭載されています。
- * サポートされている6つの国際キーボード:北米 (US) キーボード、ドイツ語キーボード、フランス語キーボード、スペイン語キーボード、イタリア語キーボード、英国英語 (UK) キーボード。
- * バーコード設定で音量を調整することができます。
- * LED インジケータとピープ音によるスキャナーの状態を示します。
- * 最大 32 文字のプレフィックス / サフィックスを自由にカスタマイズできます。
- * 最大 99 文字の接頭文字または接尾文字を削除できます。
- * 2.4GHz の接続が中断した場合に備えて、最大 2600 のスキャンバーコードを保存できるバッファ用の 256 KB メモリが用意されています。
- * スキャンモード、バーコードタイプ、データ送信フォーマットの設定は、対応するバーコードをスキャンすることで実現できます。
- * 完全に自己所有の知的財産を持っています。
- * 多数のデコードタイプがサポートされています。超高速デコードスピードも誇ります。
- * アンチクラッシュと耐衝撃設計。
- * 快適な操作性を実現できます。
- * 最大 100 万回のクリックできます。
- * ワイヤレス伝送距離は最大 60 メートルに達します。
- * 2600mAh の大容量リチウムイオン電池が内蔵されています。
- * 低消費電力で長寿命といった印象的な特徴があります。

重要な機能のご紹介

- * 電源スイッチを「オン」に切り替えると、スキャナが起動します。電源スイッチを「オフ」に切り替えると、スキャナがシャットダウンします。
- * スキャントリガーをクリックして、バーコードを読み取ります。

製品仕様

物理的特性	
モデル番号	Inateck P6
材料	PC+TPU
サイズ	長さ 92mm* 幅さ 69mm* 高さ 162mm
重量	200g
色	黒、黄
電圧	DC 5V
バッテリー容量	2600mAh

性能特性	
光源	レーザー LED 655 ± 5nm
センサー	リニアイメージセンサ
EEPROM	256K、1千以上のバーコードを保存できます
適用可能なバーコード	Codabar、Code 11、Code 128、Code39、Code 93、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、MSI、UPC-A、UPC-E、IATA2of5、Industrial2of5/Standard2of5、ITF25、Matrix 2of5、中国郵便コード、FedEx、USPS、VIN
解像度	3mil
デコードレート	220 回 /s
デコードモード	シングルレーザー
スキャンモード	自動モード / 手動モード
標準作業距離	4~40cm
スキャン幅	400mm @ 400mm
印刷コントラスト	20%
デコードアングル	ロール 30°、ピッチ 75°、ヨー 80°
水平シリンダースキャン	直径 20mm
インジケータ	ブザー、LED
インタフェース	USB
無線周波数	2.4~2.4835 GHz
伝送レート	1Mbps
ワイヤレスレンジ	≥60m
連続スキャン回数	180000 回
EMC	CE、FCC、RoHS、FDA、IEC62133、UN38.3

使用環境	
動作温度。	0 ~ 50° C / 32 ~ 122° F
保管温度。	0 ~ 50° C / 32 ~ 122° F
動作湿度	20-85% (結露しない)
保管湿度	20-85% (結露しない)

正しいスキャン方法



間違ったスキャン方法



クイックスタート

Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは、設定バーコードをスキャンすることで設定を変更できます。本章では、設定バーコードをスキャンして Inateck BCST-60 バーコードスキャナーを設定する手順について説明します。下記をご参考ください。

ステップ 1: inateck BCST-60 バーコードスキャナーをオンにします。

電源スイッチを OFF から ON に切り替え、Inateck BCST-60 の電源をオンにします。トリガーを短く押すと、読み取り窓から赤色光が投光された。

ステップ 2: 設定モードに入ります。

「セットアップ」バーコードをスキャンすると、Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、LED2 インジケータが青点灯になります。



セットアップ

ステップ 3: 設定バーコードをスキャンします。

特定の機能設定バーコードをスキャンしてスキャナの設定を変更します。（例えば、「Codebar を有効にする」など）。設定変更の場合は、Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは、2 回のピープ音（低い音から高い音まで）が鳴って、LED2 インジケータが青点灯になります。



Codebar を有効にする

ステップ 4: 設定モードを終了します。

「保存して終了」バーコードをスキャンして設定を完了します。Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、LED2 インジケータが消灯になります。



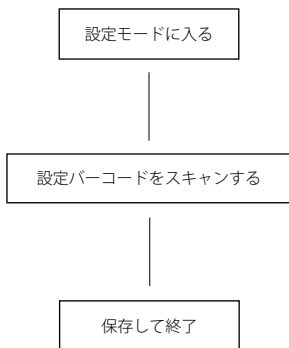
保存して終了

ご注意: Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは、セットアップエラーが発生した場合、長いピープ音が鳴ります。例えば、設定モードで設定なしのバーコードがスキャンされます。セットアップエラーは、「保存せず終了」バーコードをスキャンすることで取り消すことができます。



保存せず終了

セットアップのフローチャート



設定モードに入る

Inateck BCST-60 スキャナーは下記の「セットアップ」バーコードをスキャンすると設定モードに入ります。

設定モードに入ると、Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、LED2 インジケータが青点灯になります。



セットアップ

以下の手順では、その他の機能設定について説明します。

保存して終了

Inateck BCST-60 スキャナーは下記の「保存して終了」バーコードをスキャンすると設定モードを終了します。

設定モードを終了すると、Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、LED2 インジケータが青点灯になります。



保存して終了

保存せずに終了

エラーが発生したときに「保存せずに終了」バーコードをスキャンすることをお勧めします。「保存せずに閉じる」バーコードが正常にスキャンされると Inateck BCST-60 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、LED2 インジケータが青点灯になります。



保存せずに終了

工場出荷時の設定に戻す

Inateck BCST-60 バーコードスキャナーが「工場出荷時の設定に戻す」バーコードをスキャンすると、短いビーブ（高音）が鳴って、すべての設定が工場出荷時のデフォルト値に戻します。「保存して終了」バーコードを再度スキャンする必要はありません。



工場出荷時の設定に戻す

「工場出荷時の設定に戻す」バーコードは、以下の状況で使用できます。

1. スキャナーが動作しません。例えば、バーコードを読み取ったりスキャンしたりすることはできません。
2. 以前行った設定を忘れてしまいました。スキャナーを使用するときに忘れてた設定の影響を受けたくない場合。
3. 通常は使用されていない、またはスキャナのデフォルト設定ではない機能を使用する必要があります。

ご注意: ほとんどの設定で工場出荷時の設定が選択されています。アスタリスク "*" は各設定の出荷時のデフォルト値を示しています。

ソフトウェアのバージョンを確認する

Inateck BCST-60のソフトウェアバージョンを確認したい場合は、下記の「セットアップ」と「ソフトウェアのバージョンを表示する」バーコードをスキャンしてください。



セットアップ



ソフトウェアのバージョンを表示する

ソフトウェアのバージョンを確認するには、通常、設定モードで実行されるため、ソフトウェアバージョンの表示後に「保存せずに終了」バーコードをスキャンする必要があります。



保存せずに終了

カスタム設定を保存する

1. Inateck BCST-60 は、出荷時のデフォルト設定を変更したり、機能をカスタマイズすることができます。「セットアップ」→「機能設定バーコード」→「カスタム設定の保存」→「保存して終了」のバーコードをスキャンして設定することができます。



セットアップ



出力コード ID

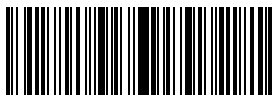


カスタム設定の保存



保存して終了

2. バーコードスキャナをリセットしてカスタム設定に戻したい場合は、「セットアップ」→「カスタム設定に戻す」→「保存して終了」のバーコードを順番にスキャンして、カスタム設定が復元されます。



セットアップ



カスタム設定に戻す



保存して終了

第1章機能と基本設定

この章では、バーコードスキャナーの機能と使い方を紹介します。

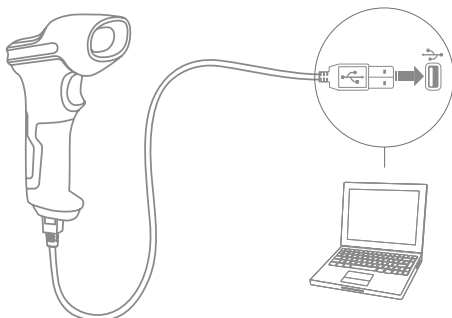
1.1. バッテリー

本製品には 2600mAh の充電可能なリチウム電池が内蔵されます。大容量のバッテリーは、150 時間連続使用可能のこと、または 180000 のバーコード（3 秒ごとに Code128 のバーコードを読取）を連続に読み取ることができます。

充電に必要な電圧は 5V、電流は 500mA 以下です。過電流保護をサポートしている電流制御チップがスキャナの内部に設定されています。充電電圧 5V、電流 500mA 以下の充電を保証しています。定格電圧が 5V である通常の携帯電話充電器または PC の USB ポートを使用して充電できます。

1.1.1. 充電

USB ケーブルをスキャナの底面に挿入して充電します。充電中に赤い LED1 インジケータが点灯し、スキャナが完全に充電されると消灯します。



1.1.2. 基本操作

電源が入る

電源スイッチを「ON」にスライドさせると、電源が入ります。

ご注意:

スキャナには電力管理アルゴリズムが搭載されています。スタンバイモードではほとんど電力が消費されません。より良い使用体験を保証するためには、すぐに使用される場合は、スキャナを OFF にしないでください。詳細は、1.1.3 を参照してください。

バーコードを読み取る

トリガー（スキャンボタン）をクリックすると、赤色のレーザーを発します。

電源が切れる

電源スイッチを「OFF」にスライドさせると、電源が切れます。

1.1.3. 自動スリープモード

バッテリーの電力を節約するために、スキャナが設定した時間間隔で、自動的にスリープモードに移行することが実現できます。デフォルトの時間間隔では、3分に設定されています。



1分



(*) 3分



5分



10分

例：自動スリープ時間が5分に設定する操作手順は次のとおりです。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。



セットアップ

2. 「自動スリープモード」を読み取ります。



自動スリープモード

3. 「5分」のバーコードを読み取ります。



5分

4. 「保存して終了」バーコードを読み取ります。



保存して終了

ご注意: 自動スリープモードを無効にするには、ステップ2とステップ3を代わりに「自動スリープモードを無効にする」バーコードをスキャンしてください。



自動スリープモードを無効にする

1.2. データバッファ

2.4GHz 接続（ワイヤレスモード）では、Inateck BCST-60 スキャナは 256KB のメモリをデータバッファとして使用し、読み取ったデータを 2.4GHz 経由で 1 台ずつホストコンピュータに送信します。256KB のメモリは、5000 個の Code128 のバーコードを保存できます。

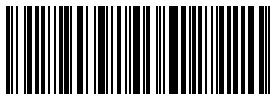
1.2.1. ワイヤレスモード

バーコードを正常に読み取ると、スキャナは 1 回の短いピーブ音（高音）が鳴り、LED インジケータが緑色に点灯してからすぐに消灯します。ただし、スキャナ本体と 2.4GHz アダプタを取付したホストコンピュータの距離が通信可能距離を超えると、すぐにデータを伝送しないことがあります。その場合、バーコードを正常に読み取ると、スキャナは 1 回の短いピーブ音（高音）が鳴り、LED インジケータが青色に点灯してからすぐに消灯します。

256KB のデータバッファを利用しているときに、スキャナは送信ステータスを無視して、バッファ容量がなくなるまでバーコードを連続に読み取ることができます。バッファ容量がなくなると、スキャナは長いピーブ（高音）が鳴ります。これは、バッファ容量不足で、それ以上のバーコードを保存できないことを表示します。この場合は、2.4GHz 通信可能範囲内に戻ってください。バッファ内のデータが自動的にアップロードされないため、接続が完了したら、データをコンピュータにアップロードするにはトリガをダブルクリックしてください。バッファ内のデータはホストコンピュータにアップロードされ、バッファの空き領域が解放されます。接続が完了したら自動的にバーコードをホストコンピュータにアップロードしたい場合は、「セットアップ」→「自動アップロードを有効にする」→「保存して終了」バーコードを順番に読み取って実現することができます。



自動アップロードを有効にする



(*) 自動アップロードを無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

また、電源を入れるたびにバッファ内のデータをクリアすることもできます。「セットアップ」→「電源を入れたときにバッファ内のデータをクリアする」→「保存して終了」バーコードを順番に読み取って実現することができます



電源を入れたときにバッファ内のデータをクリアする



(*) 電源を入れたときにバッファ内のデータをクリアしない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

1.2.2. 在庫モード

Inateck BCST-60 のバッファにバーコードを保存してバッチアップロードするには、在庫モードを選択してください。在庫モードでは、Inateck BCST-60 は自動的にバーコードの数量を計数でき、読み取ったバーコードを Inateck BCST-60 のバッファに保存し、コンピュータにバッチアップロードすることができます。在庫モードでは、データをアップロードする時間と場所に制限されません。アップロード後に履歴データをバッファでクリアすることができます。在庫モードの詳細は次のとおりです。

ご注意：

1. 以下の 5 つの機能は、「セットアップ」と「保存して終了」バーコードをスキャンしなくても実現できます。
 2. 以下の 5 つの機能は、1.5 で述べたスキャンモードで使用できます
- 1) バーコードをスキャンして在庫モードに入ります。



在庫モード

- 2) バーコードをスキャンしてバッファからデータをアップロードします。（在庫モードのみ）



データアップロード（在庫モードのみ）

- 3) バーコードをスキャンしてバッファからバーコードの数をアップロードします。（在庫モードのみ）



バーコードの数をアップロードする。（在庫モードのみ）

- 4) バーコードをスキャンしてバッファ内のデータをクリアします（インベントリモードのみ）。



バッファ内のデータをクリアする（インベントリモードのみ）

- 5) バーコードをスキャンして通常モードに戻ります。



(*) 通常モードに戻る

1.3. LED インジケータ

LED インジケータは Inateck BCST-60 の動作を表示できます。

LED インジケータ	動作
緑色の LED が一回点滅した	バーコードが正常に読み取られ、コンピュータにアップロードされました。
青色の LED が一回点滅した	バーコードは正常に読み取られ、コンピュータにはアップロードされなくて、バッファに保存されました。
青色の LED が常時点灯している	セットアップモード
黄色の LED が点滅(明/暗比0.5秒:0.5秒)	ローバッテリー
赤色の LED が常時点灯している	充電中(満充電になると赤色の LED が消灯します。)

1.4. ビープ音

Inateck BCST-60 に内蔵されているブザーは、当前の操作状況を知らせます。

ビープ音	動作
短い高音 (100ms) が 1 回鳴った。	バーコードを正常に読み取りました。
同じの短い高音が 2 回鳴った。	バーコードスキャナがシャットダウンしました。
短い高音 (20ms) が 1 回鳴った。	データはスキャナーからホストへアップロードされました。
長い高音 (400ms) が 1 回鳴った。	設定エラー (セットアップ状態では、青色の LED は点灯したままです) バッファ容量がなくなったため、スキャンされたバーコードは保存されません。 ペアリング失敗 (ペアリング中のみ発生します)
長い高音 (800ms) は 1 回または数回を鳴った。	USB が認識されています。(USB ケーブルが挿入されている場合)
三和音	セットアップモードに入りました。(青色 LED が点灯) 設定モードを終了しました。(青色 LED 消灯)
短い音 (低音から高音まで) が 2 回鳴った。	設定に成功しました。
短いビープ音 (高音から低音) が 2 回鳴った。	Inateck BCST-60 とコンピュータの接続が中断されました。

1.4.1. ビープ音の音量



ミュート



最小音量



(*) 中間音量



最大音量

例：下記の手順に従って、ビープ音の音量を最小音量に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンする



セットアップ

2. 「最小音量」のバーコードを読み取ります。



最小音量

3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



保存して終了

1.5. スキャニング モード

Inateck BCST-60 は4つのスキャニングモードをサポートします。

1.5.1. 自動レーザーオフモード

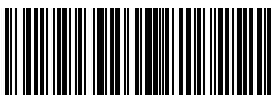
デフォルトでは、スキャニングモードは自動レーザーオフモードに設定されています。トリガーをクリックすると、読み取り窓から赤いレーザーが投光され、バーコードをスキャンできます。バーコードが正常にスキャンされない場合、設定した待機時間後にレーザーは自動的に消光します。通常、デフォルトは2秒で、1秒、2秒、3秒、5秒に設定できます。バーコードを正常にスキャンした場合はレーザーがすぐに消えます。



(*) 自動レーザーオフモード



自動レーザーオフモードの待機時間を設定



1秒



(*)2秒



3秒



5秒



50秒



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って自動レーザーオフモードを有効にして、待機時間を1秒に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンする
2. 「自動レーザーオフモード」のバーコードを読み取ります。
3. 「自動レーザーオフモードの待機時間を設定」のバーコードを読み取ります。
4. 「1秒」のバーコードを読み取ります。
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります

1.5.2. 自動感知モード

自動感知モードでトリガーをクリックする必要がありません。スキャナは読み取り窓前のバーコードを感知して、赤いレーザーを自動投光してバーコードを読み取ります。以下の状況になるまで、赤いレーザーが消光しなくて、スキャンも停止されません。

* バーコードを正常に読み取りました。

* 設定されたタイムアウトが終了しました。（デフォルトの時間は2秒で、自動レーザーオフ時間と同じです）。

ご利用環境により最適な自動感知距離を設定することができます。デフォルトの距離は長距離です。



自動感知モード



自動感知距離を設定する



短距離



(*) 長距離



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って自動感知モードを有効にして、自動感知距離を「短距離」に設定します。

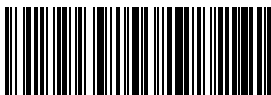
1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「自動感知モード」のバーコードを読み取ります。
3. 「自動感知距離を設定する」のバーコードを読み取ります。
4. 「短距離」のバーコードを読み取ります。
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

1.5.3. 連続読み取りモード

このモードでは、トリガーをクリックする必要なくて、赤いレーザーが常時投光され、スキャナが自動的にスキャン状態に入ります。

Inateck BCST-60 がバーコードを正常に読み取ったまで、赤いレーザーは消光されません。バーコードを正常に読み取った場合、レーザーが消えて、スキャナーは待機モードに入ります。デフォルトの待機時間が通常に 2 秒で設定され、ご利用環境により、400ms、800ms、1 秒、2 秒、3 秒、5 秒、10 秒、15 秒に設定することができます。

また、待機時間が経過するとスキャナのレーザーが再び投光されます。スキャナがバーコードを正常に読み取ると消えます。



連続読み取りモード



連続読み取りモードの待機時間を設定



400ms



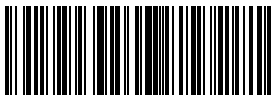
800ms



1 秒



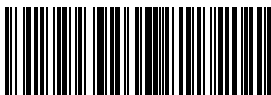
(*)2 秒



3 秒



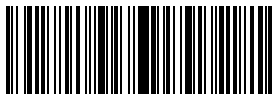
5 秒



10 秒



15 秒



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って連続読み取りモードを有効にして、待機時間を1秒に設定します。

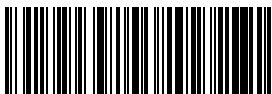
1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「連続読み取りモード」のバーコードを読み取ります。
3. 「連続読み取りモードの待機時間」のバーコードを読み取ります。
4. 「1秒」のバーコードを読み取ります。
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

1.5.4. 手動モード

手動モードでは、トリガーを押し続けていると、Inateck BCST-60 は赤色のレーザーを投光し、バーコードを読み取ることができます。次のような状況になると、赤色のレーザーが消光します。

* バーコードを正常に読み取りました。

* トリガーを放しました。



手動モード



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って、手動モードに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「手動モード」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

1.6. 対応キーボード

Inateck BCST-60 は Windows、Android、MacOS と互換性があります。デフォルトでは Windows/Android 用キーボードと設定しています。下記の関連バーコードをスキャンして変更することができます



(*) Windows/Android モード



MacOS モード

MacOS デバイスで Inateck BCST-60 を使用するには、以下の手順に従って操作してください：

- 1) 「セットアップを入力」を読み取ります。
- 2) 「MacOS デバイスモード」を読み取ります。
- 3) 「保存して終了」を読み取ります。

ご注意： Android デバイスで BCST-60 を使用する場合は、Gboard を入力として適用してください。スキャナを「Windows / Android」モードに設定するほかに、スキャナキーボードの言語を US キーボードに設定してください。Gboard の言語設定は出力に影響しません。

Inateck BCST-60 は、US キーボード、ドイツ語キーボード、フランス語キーボード、スペイン語キーボード、イタリア語キーボード、UK キーボードの 6 つの国際キーボードをサポートしています。US キーボードをデフォルトとして設定されます。スキャナのキーボードを、ホストコンピュータのキーボードと一致するように設定することをお勧めします。



セットアップ



UK キーボード



ドイツ語キーボード



フランス語キーボード



スペイン語キーボード



イタリア語キーボード



(*)US キーボード



保存して終了

例：下記の手順に従ってキーボードをドイツ語キーボードに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「ドイツ語キーボード」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：文字化けが表示される恐れがあるので、Inateck P6 のキーボードはホストコンピュータのキーボード言語と一致する必要があります。

1.7. サポートされているバーコード

Inateck P6 スキャナは一般的なバーコードのほとんどがサポートされています。下記のリストで確認してください。

サポートされているバーコード： 有効 / 無効		デフォルト
Codabar		有効
Code 11		無効
Code 128		有効
Code 39		有効
Code 93		有効
EAN-8		有効
EAN-13		有効
ISBN		無効
ISSN		無効
MSI		無効
UPC- A		有効
UPC- E		有効
2 of 5 バーコード	IATA 2 of 5	無効
	インタリーブド 25	有効
	マトリックス 25	無効
	スタンダード 25 または インダストリアル 25	無効
中国郵便番号		無効

第 2 章 PC/ スマートフォン /POS との接続方法

2.1. USB 有線データ伝送

USB-HID 協定により、Inateck P6 は USB ケーブル接続によるタイムリーなデータ送信をサポートします。USB ケーブルを介して接続する場合は、USB 経由のデータ伝送が優先されます。

2.2. ワイヤレスデータ伝送

dongle とペアリングした後、Inateck P6 は 2.4GHz 無線データ伝送を実現できます。Inateck P6 は出荷する前に、dongle とのペアリングを完成したので、dongle を USB 2.0 または USB 3.0 インターフェイスに接続するだけで、バーコードを読み取って、データを送信できます。さらに、複数の Inateck P6 を 1 台の dongle とペアリングすることをサポートしています。以下の手順に従ってペアリングしてください：

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「ペアリング」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



ペアリング

ご注意：Inateck P6 はペアリングが正常に終了すると自動的に設定モードを終了します。ペアリングに失敗した場合は設定モードを維持し、再度「ペアリング」バーコードをスキャンして修復する必要があります。ペアリング中に、近くの Inateck P6 スキャナに多少の影響を与える可能性がありますが、データが失われることはありません。また、データを失う恐れがあるので、複数のスキャナを 1 台の dongle と同時にペアリングしないことを強くお勧めします。

2.3. データ伝送スピード

デフォルトでは、Inateck P6 スキャナは、効率を最大限に向上させるために、データ伝送スピードが高速送信の「0ms」に設定しています。データを失う恐れがあるので、Inateck P6 はあるアンドロイドデバイスのエクセルで動作する場合は、低速送信モードに設定することを推奨します。



(*) 0ms



16ms



32ms



64ms



96ms



128ms

例：下記の手順に従って、データ伝送スピードが「16ms」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「16ms」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了

第3章 バーコード設定

3.1. Codabar

3.1.1. Codabar を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードを読み取って Codabar を有効 / 無効に設定します。Inateck P6 スキャナはデフォルトで Codabar を有効にします。



(*) Codabar を有効にする



Codabar を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

ご注意: 「Codabar を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Codabar バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Codabar バーコードを読み取れない場合は、「Codabar を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Codabar を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「Codabar を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.1.2. Codabar スタート・ストップキャラクタを送信する

以下の関連するバーコードをスキャンして、スタート・ストップキャラクタを送信する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、スタート・ストップキャラクタを送信します。



(*)Codabar スタート・ストップキャラクタを送信する



Codabar スタート・ストップキャラクタを送信しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：スタート・ストップキャラクタを送信しないことを設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Codabar を有効にする」バーコードを読み取ります。（コードバーが無効に設定した場合のみ）。
3. 「Codabar スタート・ストップキャラクタを送信しない」バーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」バーコードを読み取ります。

3.2. Code 11

3.2.1. Code 11 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 11 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 11 を無効に設定しています。



Code 11 を有効にする



Code 11 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

ご注意：「Code 11 を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Code 11 バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Code 11 バーコードを読み取れない場合は、「Code 11 を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Code11 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「Code11 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.2.2. チェックサム検証

Code11 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の1桁または2桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「1桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしのCode11 または2桁のチェックサム文字付き Code 11 を読み取ることはできません。

スキャナが「2桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の2桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしのCode 11 または1桁のチェックサム文字付き Code 11 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁または2桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1～2桁としてチェックサム文字を出力します。Inateck P6 はデフォルトでチェックサム文字を出力します。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。



(*) バーコードを検証しない



1桁のチェックサム文字で検証



2桁のチェックサム文字で検証



(*) チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しないで検証



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：「2桁のチェックサム文字で検証」を設定する場合は、下記の手順に従って操作します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「2桁のチェックサム文字で検証」バーコードを読み取ります。
*チェックサム文字を出力しない場合は、「チェックサム文字を出力しないで検証」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.3. Code 128

3.3.1. Code128 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 128 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 128 を有効に設定しています。



(*) Code 128 を有効にする



Code 128 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

ご注意: 「Code 128 を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Code 128 バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Code 128 バーコードを読み取れない場合は、「Code 128 を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Code128 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「Code128 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.4. Code 39

3.4.1. Code 39 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 39 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 39 を有効に設定しています。



(*)Code 39 を有効にする



Code 39 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

ご注意: 「Code 39 を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Code 39 バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Code 39 バーコードを読み取れない場合は、「Code 39 を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Code39 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「Code39 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.4.2. Coda39 スタート・ストップキャラクタを伝送する

以下の関連するバーコードをスキャンして、Coda39 スタート・ストップキャラクタを伝送する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、スタート・ストップキャラクタを伝送しません。



Coda39 スタート・ストップキャラクタを伝送する



(*Coda39 スタート・ストップキャラクタを伝送しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：Coda39 スタート・ストップキャラクタを伝送しないことを設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Coda39 を有効にする」バーコードを読み取ります。（コードバーが無効に設定した場合のみ）。
3. 「Code 39 スタート・ストップキャラクタを伝送しない」バーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」バーコードを読み取ります。

3.4.3. チェックサム検証

Code39はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の1桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしのCode39を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしのCode39を読み取ることはできません。



(*) 検証しない



チェックサム文字を出力しないで検証



チェックサム文字を出力して検証



セットアップ



保存して終了



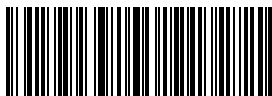
保存せずに終了

例：「チェックサム文字を出力して検証」を設定する場合は、下記の手順に従って操作します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「チェックサム文字を出力して検証」バーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.4.4. ASCII コード認識範囲の設定

以下の関連するバーコードをスキャンして、すべての英数字と特殊文字を含む Code 39 Full ASCII を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 39 Full ASCII を無効に設定しています。設定バーコードを読み取ることにより、Code 39 Full ASCII を有効に設定することができます。



Code 39 Full ASCII を有効にする



(*)Code 39 Full ASCII を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って、Code 39 Full ASCII を有効に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Code 39 Full ASCII を有効にする」バーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.4.5. VIN

Code 39 は 17 桁から成る、VIN コード（獣医情報ネットワークの略称）を作成するために使用することができます。Inateck P6 はデフォルトで VIN を無効に設定しています。



VIN を有効にする



(*)VIN を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って、VIN を有効に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「VIN を有効にする」バーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.4.6. Code 32

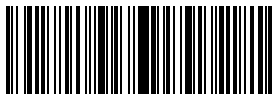
Code 32 は、通常イタリアの医療製品に適用され、Code 39 の特別な形式です。Inateck P6 はデフォルトで Code 32 を無効に設定しています。



Code 32 を有効にする



(*Code 32 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って、Code32 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Code32 を有効にする」バーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

Code 32 は先頭文字が A に固定されています。以下の関連するバーコードをスキャンして、Code32 の先頭文字 A を有効 / 無効にするオプションをすることができます。Inateck P6 はデフォルトで Code32 の先頭文字 A を無効に設定しています。



Code32 の先頭文字を有効にする



(*Code32 の先頭文字を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って、Code32 の先頭文字を有効に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Code32 の先頭文字を有効にする」バーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.5. Code 93

3.5.1. Code 93 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 93 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 93 を有効に設定しています。



(*) Code 93 を有効する



Code 93 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

ご注意：「Code 93 を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Code 93 バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Code 93 バーコードを読み取れない場合は、「Code 93 を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Code93 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「Code93 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.6. EAN-8

3.6.1. EAN-8 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-8 を有効に設定しています。



(*)EAN-8 を有効にする



EAN-8 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って EAN-8 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「EAN-8 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.6.2. チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8 チェックサムを送信する / しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-8 チェックサムを送信することに設定しています。



(*) EAN-8 チェックサムを送信する



EAN-8 チェックサムを送信しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って EAN-8 を有効にして、EAN-8 チェックサムを送信することに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「EAN-8 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「EAN-8 チェックサムを送信する」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.7. EAN-13

3.7.1. EAN-13 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を有効に設定しています。



* EAN-13 を有効にする



EAN-13 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って EAN-13 を有効にすることに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「EAN-13 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.7.2. チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13 チェックサムを送信する / しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 チェックサムを送信することに設定しています。



(*) EAN-13 チェックサムを送信する



EAN-13 チェックサムを送信しない



セットアップ



保存して終了



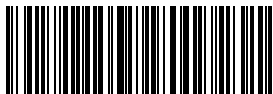
保存せずに終了

例：下記の手順に従って EAN-13 を有効にして、EAN-13 チェックサムを送信することに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「EAN-13 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「EAN-13 チェックサムを送信する」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.7.3. ISBN

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13 を ISBN に変換する / しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を ISBN に変換しないことに設定しています。



EAN-13 を ISBN に変換する



(*)EAN-13 を ISBN に変換しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って EAN-13 を有効にして、EAN-13 を ISBN に変換することに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「EAN-13 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「EAN-13 を ISBN に変換する」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.7.4. ISSN

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13をISSNに変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13をISSNに変換しないことに設定しています。



EAN-13をISSNに変換する



(*)EAN-13をISSNに変換しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従ってEAN-13を有効にして、EAN-13をISSNに変換することに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「EAN-13を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「EAN-13をISSNに変換する」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.8. MSI

3.8.1. MSI を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、MSI を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、MSI を無効に設定しています。



MSI を有効にする



(*)MSI を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

ご注意：「MSI を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは MSI バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが MSI バーコードを読み取れない場合は、「MSI を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って MSI を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「MSI を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.8.2. チェックサム検証

MSI はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の1桁または2桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「1桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしのMSIまたは2桁のチェックサム文字付きMSIを読み取ることはできません。

スキャナが「2桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の2桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしのMSIまたは1桁のチェックサム文字付きMSIを読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁または2桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1～2桁としてチェックサム文字を出力します。Inateck P6はデフォルトでチェックサム文字を出力します。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。



(*) 検証しない



1桁のチェックサム文字で検証



2桁のチェックサム文字で検証



(*) チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しないで検証



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：「1桁のチェックサム文字で検証」を設定して、しかも、チェックサム文字を出力しない場合は、下記の手順に従って操作します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「1桁のチェックサム文字で検証」バーコードを読み取ります。
3. 「チェックサム文字を出力しないで検証」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.9. UPC-A

3.9.1. UPC-A を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-A を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-A を有効に設定しています。



(*) UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする



セットアップ



保存して終了



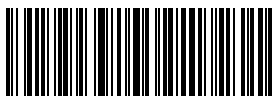
保存せずに終了

例：下記の手順に従って UPC-A を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-A を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.9.2. UPC-A に 0 を付加する

以下の関連するバーコードをスキャンして、出力した UPC-A バーコードデータに 0 を付加する / しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、0 を付加しないことに設定しています。



UPC-A に 0 を付加する



(*UPC-A に 0 を付加しない



セットアップ



保存して終了



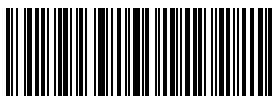
保存せずに終了

例：下記の手順に従って UPC-A に 0 を付加することに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-A に 0 を付加する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.9.3. チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-A チェックサムを送信する / しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-A チェックサムを送信することに設定しています。



(*)UPC-A チェックサムを送信する



UPC-A チェックサムを送信しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って UPC-A を有効にして、UPC-A チェックサムを送信することに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-A を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「UPC-A チェックサムを送信する」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.10. UPC-E

3.10.1. UPC-E を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-E を有効に設定しています。



(*)UPC-E を有効にする



UPC-E を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って UPC-E を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-E を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.10.2. UPC-E1 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E1 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-E1 を無効に設定しています。



UPC-E 1 を有効にする



(*)UPC-E 1 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

ご注意： 大部分の UPC-E の先頭文字は 0 です。UPC-E1 を有効にする前に、UPC-E を有効にするように設定してください。Inateck P6 のデフォルトでは、UPC-E1 を無効に設定しています。

例：下記の手順に従って UPC-E 1 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-E を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「UPC-E1 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.10.3. 先頭文字送信

以下の関連するバーコードをスキャンして、「0」または「1」に制限されている先頭文字を送信する / しないオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「UPC-E 先頭文字を送信する」と設定します。



(*) UPC-E 先頭文字を送信する



UPC-E 先頭文字を送信しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「UPC-E 先頭文字を送信しない」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-E 先頭文字を送信しない」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.10.4. UPC-E を UPC-A に変換する

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E を UPC-A に変換する / しないオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「UPC-E を UPC-A に変換する」と設定します。



(*)UPC-E を UPC-A に変換する



UPC-E を UPC-A に変換しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「UPC-E を UPC-A に変換する」に設定します。

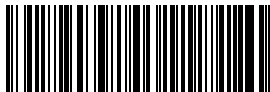
1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-E を UPC-A に変換する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.10.5. チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E チェックサムを送信する / しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-E チェックサムを送信することに設定しています。



(*)UPC-E チェックサムを送信する



UPC-E チェックサムを送信しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「UPC-E チェックサムを送信しない」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「UPC-E チェックサムを送信しない」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.11. IATA 2 of 5

3.11.1. IATA 25 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、IATA 25 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「IATA 25 を無効にする」と設定します。



IATA 25 を有効にする



(*)IATA 25 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って IATA 25 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「IATA 25 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.11.2. チェックサム検証

IATA 25 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしの IATA 25 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしの IATA 25 を読み取ることはできません。



(*)IATA 25 を検証しない



チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しないで検証



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「チェックサム文字を出力して検証」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「チェックサム文字を出力して検証」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.12. インタリーブド (Interleaved) 2 of 5 (以下インタリーブド 25 と省略)

3.12.1. インタリーブド 25 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、インタリーブド 25 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「インタリーブド 25 を有効にする」と設定します。



(*) インタリーブド 25 を有効にする



インタリーブド 25 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従ってインタリーブド 25 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「インタリーブド 25 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.13. マトリックス (Matrix) 2 of 5 (以下マトリックス 25 と省略)

3.13.1. マトリックス 25 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、マトリックス 25 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「マトリックス 25 を無効にする」と設定します。



マトリックス 25 を有効にする



(*) マトリックス 25 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従ってマトリックス 25 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「マトリックス 25 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.13.2. チェックサム検証

マトリックス 25 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。



(*) バーコードを検証しない



チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しないで検証



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「チェックサム文字を出力して検証」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「チェックサム文字を出力して検証」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.14. スタンダード (Standard) 2 of 5 / インダストリアル (Industrial) 2 of 5

スタンダード 2 of 5 はインダストリアル 2 of 5 と呼ばれます。(以下スタンダード 25 と省略)

3.14.1. スタンダード 25 を有効 / 無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、スタンダード 25 を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「スタンダード 25 を無効にする」と設定します。



スタンダード 25 を有効にする



(*) スタンダード 25 を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従ってスタンダード 25 を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「スタンダード 25 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.14.2. チェックサム検証

スタンダード 25 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。



(*) バーコードを検証しない



チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しないで検証



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「チェックサム文字を出力して検証」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「チェックサム文字を出力して検証」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.15. 中国郵便番号 (China Postal Code)

3.15.1. 中国郵便番号を有効 / 無効にする

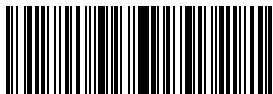
以下の関連するバーコードをスキャンして、中国郵便番号を有効 / 無効にするオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「中国郵便番号を無効にする」と設定します。



中国郵便番号を有効にする



(*) 中国郵便番号を無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って中国郵便番号を有効に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「中国郵便番号を有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

3.15.2. チェックサム検証

中国郵便番号はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の1桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしの中国郵便番号を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしの中国郵便番号を読み取ることはできません。



(*) バーコードを検証しない



チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しないで検証



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「チェックサム文字を出力して検証」に設定します。

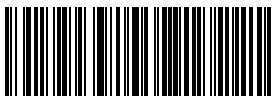
1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「チェックサム文字を出力して検証」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

第4章出力フォーマットの設定

4.1. Code ID

バーコードタイプ	Code ID
Code 128	a
EAN-13	b
EAN-8	c
UPC-A	d
UPC-E	e
Code 39	f
Code 93	g
Codabar	h
インタリーブド 25	i
スタンダード 25	j
マトリックス 25	k
IATA 2 of 5	l
MSI	m
Code 11	n
中国郵便番号	o
ISBN	p
ISSN	q

以下の関連するバーコードをスキャンして、バーコードの先頭に Code ID を付加する / しないオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「Code ID を付加しない」と設定します。



Code ID を付加する



(*)Code ID を付加しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「Code ID を付加する」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「Code ID を付加する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

4.2. バーコードの停止コードに関する設定

以下の関連するバーコードをスキャンして、バーコードの停止文字として Enter を適用する / しないオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「Enter を適用する」と設定します。



(*) 停止文字として Enter を適用する



停止文字として Enter を適用しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「停止文字として Enter を適用しない」に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「停止文字として Enter を適用しない」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

4.3. プレフィックス/サフィックス設定

Inateck P6 では 1～32 桁のプレフィックス/サフィックスをカスタマイズされることをサポートされています。デフォルトとして Inateck P6 は、プレフィックス/サフィックスを出力すると設定していますが、関連するバーコードをスキャンして、プレフィックス/サフィックスを非表示することができます。サポートされているプレフィックス/サフィックスのバーコードは付録 1 をご覧になってください。



プレフィックス設定



サフィックス設定



(*) プレフィックス出力



プレフィックス非表示



(*) サフィックス出力



サフィックス非表示



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って、「#%1」をプレフィックスとして、「!@D」サフィックスとして出力データを設定します

- 1) 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) 「プレフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
- 3) 「#」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
- 4) 「%」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
- 5) 「1」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
- 6) 「サフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
- 7) 「!」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
- 8) 「@」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
- 9) 「D」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
- 10) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意: Inateck P6 は、プレフィックス/サフィックス設定が完了すると自動的にプレフィックス/サフィックスを出力します。

4.4. バーコードデータの文字（複数可）を削除する

Inateck P6 は、出力されたバーコードデータの先頭 / 末尾の（0～99桁）文字を削除できません。初期設定で出力されたバーコードデータの先頭 / 末尾の文字が削除されません。詳細は以下の通りです。

1) 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。



セットアップ

2) 先頭文字を削除するまたは末尾文字を削除するのバーコードを読み取ります。



先頭文字を削除する



末尾文字を削除する

3) 削除する文字数（0～99桁）のバーコードを読み取ります。（13桁の文字を削除する場合は1桁と3桁のバーコードを読み取ります。）



(*) 0桁



1桁



2桁



3桁



4桁



5桁



6桁



7桁



8桁



9桁

4) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



保存して終了

ご注意:

文字を削除しない場合は、「0桁の文字を削除する」の設定を参照してください。

4.5. 大文字 / 小文字の設定

Inateck P6は、バーコードの文字をすべて大文字または小文字に切り替えることができます。デフォルトでは「大文字 / 小文字を変更しない」と表示されますが、以下の関連するバーコードをスキャンして大文字 / 小文字を変更することができます。



大文字に変更する



小文字に変更する



(*大文字 / 小文字を変更しない



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

下記の手順に従って、バーコードの文字をすべて大文字に切り替えることに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「大文字に変更する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

4.6. 追加コード

EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードは追加コードをつけることができます。2桁または5桁の追加コードは通常、メインコードの右側にありますが、メインコードよりサイズが小さいです。追加のコードが無効になっている場合に Inateck P6 は、メインコードのみ読み取ります。

4.6.1. 2桁の追加コード

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに2桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「2桁の追加コードを無効する」と設定します。



2桁の追加コードを有効する



(*2桁の追加コードを無効する



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「2桁の追加コードを有効する」と設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「2桁の追加コードを有効する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

4.6.2.5 桁の追加コード

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに5桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P6 はデフォルトで「5桁の追加コードを無効する」と設定します。



5桁の追加コードを有効する



(*5桁の追加コードを有効する



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「5桁の追加コードを有効する」と設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「5桁の追加コードを有効する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

4.7. バーコードセパレーター

以下の関連するバーコードをスキャンして、セパレーター「-」を有効/無効するオプションを選ぶことができます。この設定は、ISBNコードおよびISSNコードでのみ使用できます。Inateck P6のデフォルトは、「セパレータを無効にする」です。



セパレータを有効にする



(*)セパレータを無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「セパレータを有効にする」と設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「セパレータを有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

4.8. ショートバーコード

Inateck P6 は、インタリーブド 25、IATA25、スタンダード、マトリックス 25、コード 11、MSI、中国郵便番号、Code39、Codabar など、2 桁以下のショートバーコードをサポートしています。アンチジャミング機能を向上させ、エラーキャンを発生しないように、Inateck P6 はデフォルトとし「ショートバーコードを無効にする」と設定しています。ショートバーコードが読み取れない場合は、以下の設定手順をお勧めします。



ショートバーコードを有効にする



(*) ショートバーコードを無効にする



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って「ショートバーコードを有効にする」と設定します。

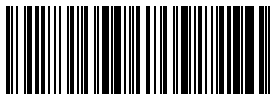
1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「ショートバーコードを有効にする」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

4.9. Caps Lock 制御

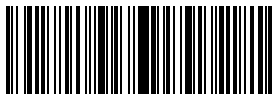
Windows システムで Inateck BCST-70 を操作する際に、Caps Lock キーの状態によりバーコード出力結果が変更されることがあります。このようなことを避けるために、「Caps Lock 制御を解除する」のバーコードを有効にしてください。



(*) Caps Lock 制御



Caps Lock 制御を解除する



セットアップ



保存して終了

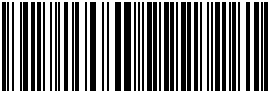


保存せずに終了

例：下記の手順に従って「Caps Lock 制御を解除する」と設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「Caps Lock 制御を解除する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

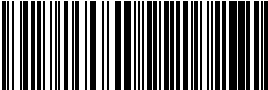
付録1 プレフィックス/サフィックスの番号とシンボルリスト



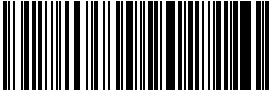
スペース



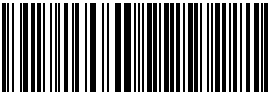
!



#



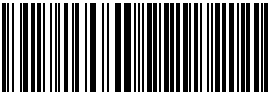
#



\$



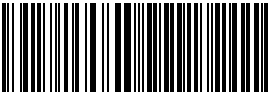
%



&



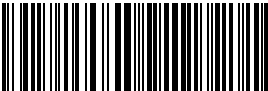
'



(



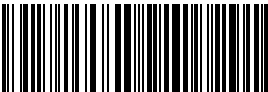
)



*



+



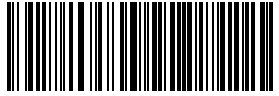
,



-



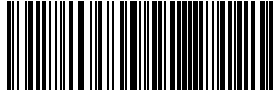
.



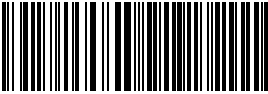
/



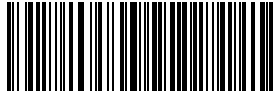
0



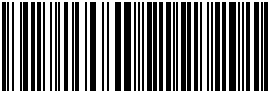
1



2



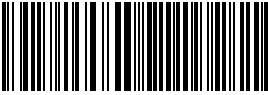
3



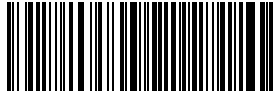
4



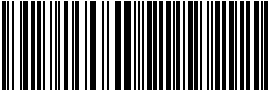
5



6



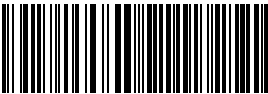
7



8



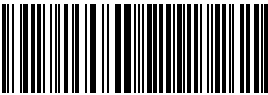
9



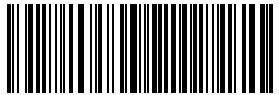
;



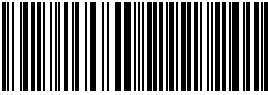
;



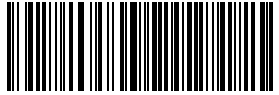
<



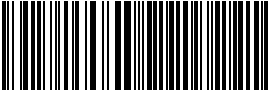
=



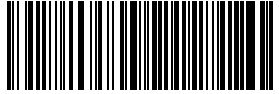
>



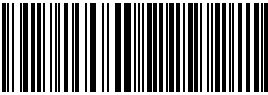
?



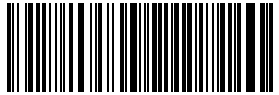
@



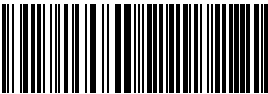
A



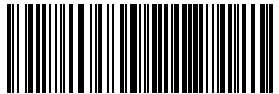
B



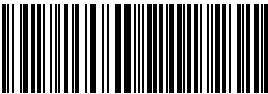
C



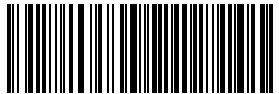
D



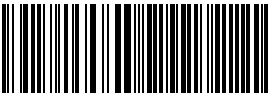
E



F



G



H



I



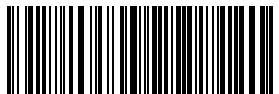
J



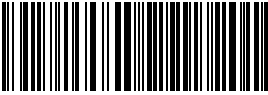
K



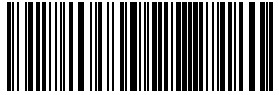
L



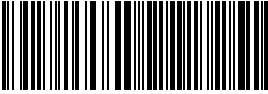
M



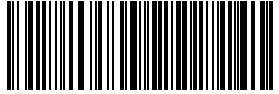
N



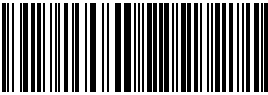
O



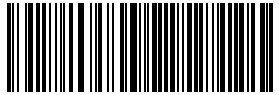
P



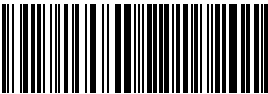
Q



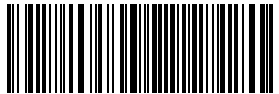
R



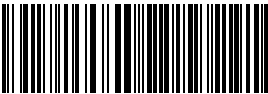
S



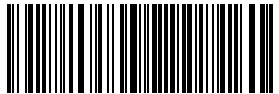
T



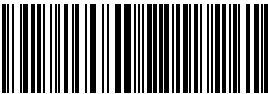
U



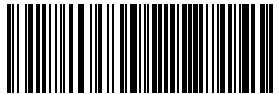
V



W



X



Y



Z



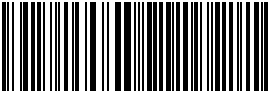
[



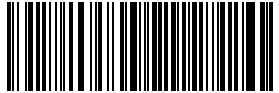
\



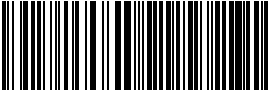
]



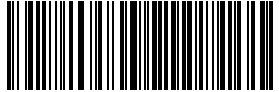
^



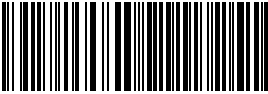
_



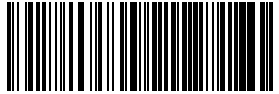
`



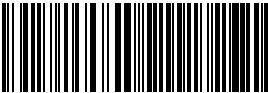
a



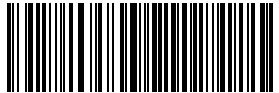
b



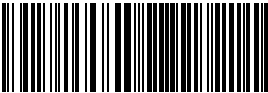
c



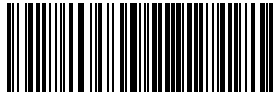
d



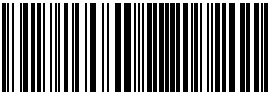
e



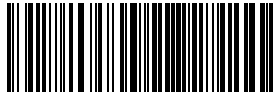
f



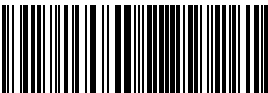
g



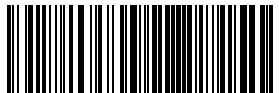
h



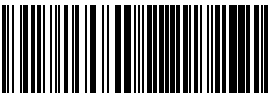
i



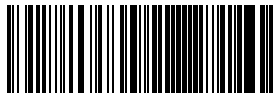
j



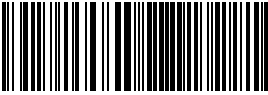
k



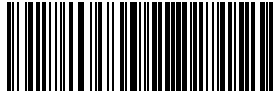
l



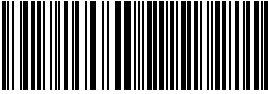
m



n



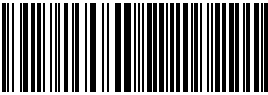
o



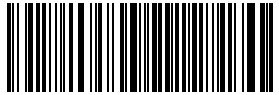
p



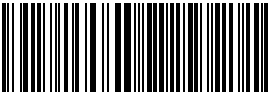
q



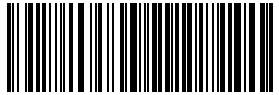
r



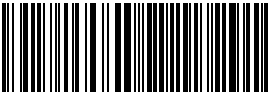
s



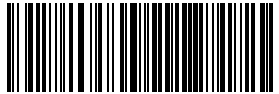
t



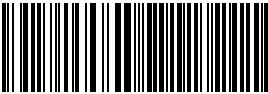
u



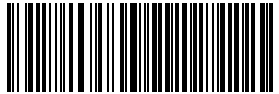
v



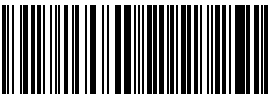
w



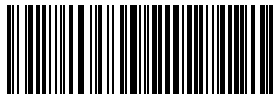
x



y



z



{



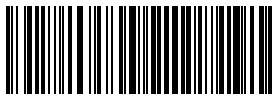
|



}



~



Enter



F1



F2



F3



F4



F5



F6



F7



F8



F9



F10



F11



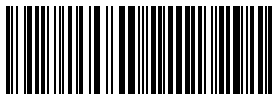
F12



タブ



バックスペース



删除



Ctrl+



Esc



Insert



Home



End



Page Up



Page Down

Contact Information

USA

Tel.: +1 702-445-7528

Phone hours: Weekdays 9 AM to 5 PM (EST)

Email: support@inateck.com

Web: www.inateck.com

Addr.: Inateck Technology Inc, 6045 Harrison Drive Suite 6,
Las Vegas, Nevada 89120

Germany

Tel.: +49 342-07673081 Fax: +49 342-07673082

Phone hours: Weekdays 9 AM-5 PM (CET)

Email: support@inateck.com

Web: <http://www.inateck.com/de/>

Addr.: F&M Technology GmbH, Montgolfierstraße 6,
04509 Wiedemar

Japan

Email: support@inateck.com

Web: www.inateck.com/jp/

Addr.: Inateck 株式会社 大阪市平野区長吉川辺 1 丁目 1-10, 547-0014

Company of License Holder

F&M Technology GmbH

Add: Montgolfierstraße 6, 04509 Wiedemar, Germany

Tel.: +49 342-07673081

Manufacturer Information

Shenzhen Lixin Technology Co.,Ltd

Add: Dezhong Industrial Park, No.11 Shibe Road, Bantian Street, Longgang District,
Shenzhen, Guangdong, 518000, China

Tel: (+86)755-23484029

Made in China